# 北広島市地震ハザードマップ

## 地域の危険度マップ

地域の危険度マップは、「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表したものです。「危険度」は、地震時に全壊する建物の割合を表示したものです。

なお、危険度マップは、地震による個々の建物の危険度を表したものではなく、各地域の建物被害を相対的に表示したものです。

## 危険度の区分

危険度は、建物の構造（木造・非木造）や建築年次により区分し、地域（町丁目）ごとで建物の全壊する割合（建物全壊率）を算出したものです。震度が同一の場合では、古い建物や木造の建物が多い地域ほど、建物全壊率が高くなります。

| 危険度 | 建物全壊率 |
|---|---|
| 1 | 0 ～ 1％ |
| 2 | 1 ～ 2％ |
| 3 | 2 ～ 4％ |
| 4 | 4 ～ 6％ |

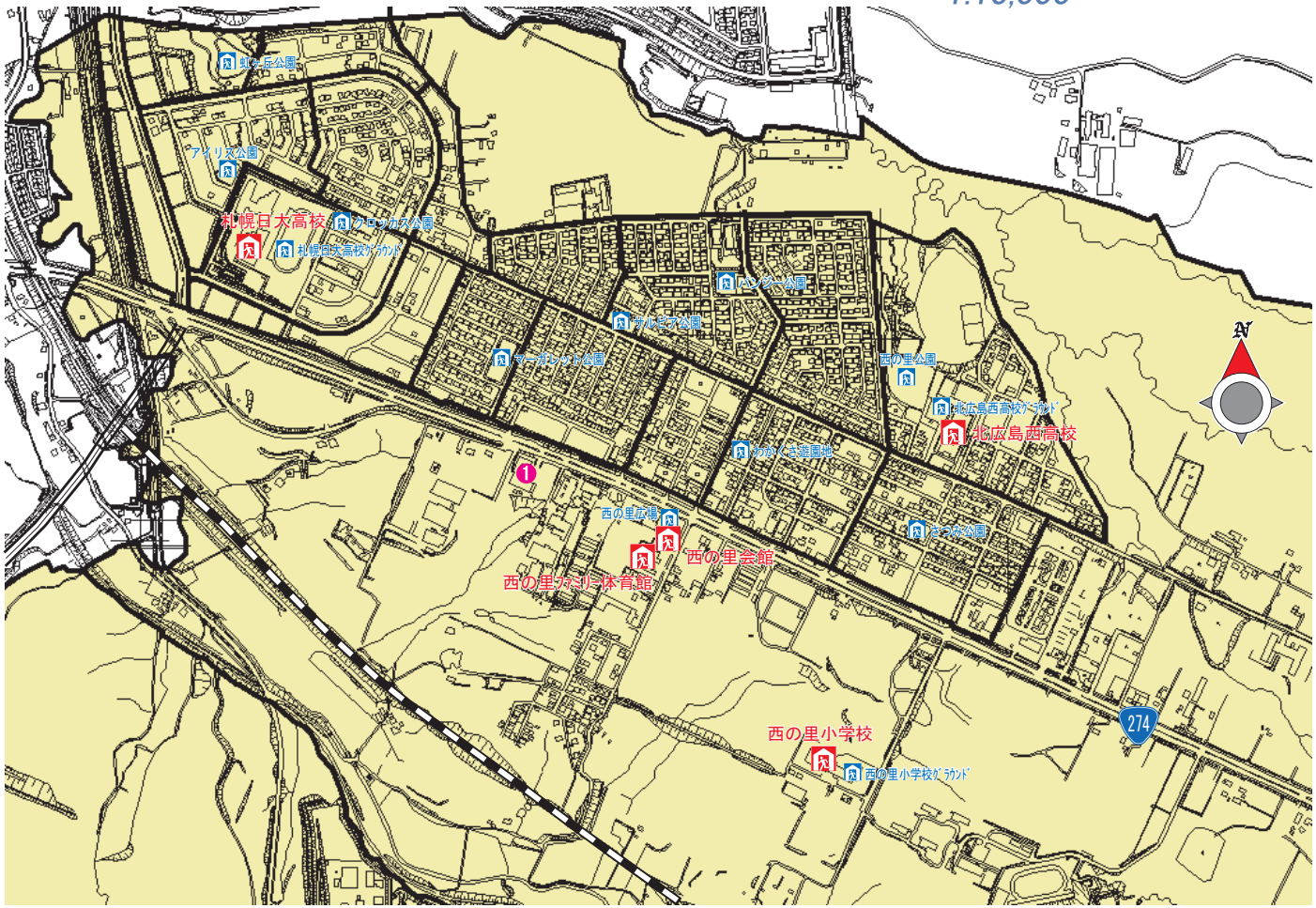
（平成20年1月1日現在）

## 地震発生時の行動のポイント

| 経過時間 | ポイント |
|---|---|
| 緊急地震速報又は地震発生 | **最初の大きな揺れから身を守る**<br>●まず、身を守る<br>机の下などへ。あわてて外へ飛び出さない。<br>●すばやく火を消す<br>危険が伴うので無理はしない。<br>●脱出口を確保する<br>ドア、窓を開ける。家がゆがむと開かなくなることがある。 |
| 発生 1～2分 | **揺れがおさまったら まず火の始末**<br>●火元を確認する<br>火が出たら落ち着いて初期消火。<br>●家族の安全を確保する<br>倒れた家具の下敷きなどでケガをしていないか。<br>●靴をはく<br>室内に散乱したガラスの破片などから足を守る。<br>※がけ崩れのおそれがある地域はすぐ避難 |
| 発生 3分 | **隣近所の安全確認 火災の発生を防ぐ**<br>●隣近所に声をかける<br>けが人・行方不明者の確認、救出・救護。<br>●近所に火が出ていたら初期消火<br>大声で知らせる。<br>消火器を使う。<br>バケツリレーをする。<br>（普段から、風呂に水をためておく）<br>●余震に注意 |
| 発生 5分 | **ラジオなどで正しい情報を入手**<br>●正しい情報をつかむ<br>ラジオや市役所、自主防災組織の情報を聞く。<br>●電話はなるべく使わない<br>緊急連絡電話が優先。安否確認は「災害用伝言ダイヤル171」で。<br>●家屋倒壊などの危険があれば避難<br>避難をするときはガス栓をしめ、ブレーカーを落とす。 |
| 発生 10分 | **協力して消火 救出・援護活動**<br>●助け合いの心が大切<br>力を合わせて消火活動、救出・救助活動<br>●水・食糧は蓄えているものでまかなう<br>3日分の飲料水と食糧を備蓄しておく。<br>●壊れた家には入らない<br>無理をして、二次災害を起こしてはいけない。<br>●災害情報・被害情報の収集<br>引き続き余震に注意 |
| 発生 数時間 | |
| 発生 3日くらい | |

# 地域の危険度マップ：西の里地区

1:10,000




## 凡　例

| | |
|---|---|
| 収容避難所 | |
| 一時避難場所 | |
| 病院・医療機関 | ① |

## 耐震診断について

地震が発生した場合、建物が倒壊する割合は、古い建物ほど高くなりますが、特に木造住宅では高い傾向にあります。

昭和56年5月以前の建築基準法、いわゆる旧耐震基準で建てられた住宅は、耐震性が低い可能性がありますので、専門家による耐震診断を行うことをお勧めします。

北広島市では、旧耐震基準の一戸建て木造住宅を対象に、耐震診断を平成20年度から、耐震改修は平成21年度から費用の一部に対して助成を行います。

## 収容避難所一覧（西の里地区）

| 名　称 | 所在地 | 電話番号 |
|---|---|---|
| 西の里小学校 | 西の里401 | 375-2520 |
| 西の里中学校 | 西の里790-1 | 375-2843 |
| 西の里ファミリー体育館 | 西の里南1丁目2-3 | 375-2933 |
| 西の里会館 | 西の里南1丁目2-2 | 375-3469 |
| 北広島西高校 | 西の里東3丁目3-3 | 375-2771 |
| 札幌日大高校 | 虹ヶ丘5丁目7-1 | 375-2611 |

※西の里中学校はマップ表示範囲外

## 医療機関一覧（西の里地区）

| 番号 | 医療機関名 | 所在地 | 電話番号 |
|---|---|---|---|
| ① | 西の里恵仁会病院 | 西の里506-13 | 375-3225 |

## 危険度マップ表示位置図